2024年秋季号_10月　Vol.171

ESC情報

WE ARE CHALLENGERS !

発行所：北海道電気技術サービス株式会社
〒069-0832　北海道江別市西野幌120番地8
TEL　011-384-8888　FAX 011-384-8889
MAIL hesc@hesc.co.jp
↑Check↑
編　集：営業部

企業の付加価値・人員確保・変革

代表取締役　向井 潔

今年の暑く長かった夏も終わりを迎え、秋の気配が濃厚になり、過ごしやすい季節となりました。

さて、ここ最近、IEDテクニカルミーティングや水力発電所の安定運転祈願において、挨拶する機会をいただきました。世の中の流れは電力設備のデジタル化による省力化や再生可能エネルギーによる脱炭素化など、世界規模の課題の解決に向け、日々技術革新が進んでいます。弊社としてもこれらの技術を活用し、社会貢献できることを大変誇りに感じております。

日々の業務と並行し、新技術の導入・製品化や再エネ普及のための製品コスト低減等、企業としての付加価値を高めるにはそれ相応の人材確保も必要となります。弊社も創立から半世紀が過ぎ、定年退職による自然減も出始めました。採用活動は積極的に行っておりますが、思うように人材確保が進まない状況です。そのような中、受注量を確保しながら企業価値を高めるには、前線で働く社員だけではなく、我々経営側の手腕も問われるところとなります。情報収集とその活用、個々のスキルアップ、ムリ・ムダ・ムラの削減、コミュニケーションの充実による意思伝達、決定の迅速化といった課題の解決に向けワーキンググループを発足させ、社内の改善に向け取り組んでいるところです。

「最近、電気技術サービスは変わったね」と言っていただけるよう、努力して参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

日々の心がけ

相談役　向井 隆

ESCを創業して、早くも53年が経過し、私も米寿を迎えました。この間、配電盤の製造や制御装置の点検、補修を行うと共に、当時としては画期的な「デジタル位相計」や「ベクタースコープ」を開発し、米国にも販売、PRに出張していました。しかし、出張している間に本社の経営が不足になってしまい、結局、新製品の販売の成果は得られませんでした。これは私の能力の限界であったと思います。

その後、弊社での画期的な新製品の開発は少ないのですが、53年も継続して経営できたことは、お客様の支持と社員の皆様の努力の賜と感謝しています。

ただ、日々の仕事は種々の法律や規則をもとに、良い仕事をすることが当然ですが、それ以上に契約書を超えて「さすがESC、〇〇さん」と言われるような配慮をすることが重要です。お客様により一層、喜ばれるような仕事を心がけて、さらに長くESCが継続できますことを期待しています。

※当時の開発製品は、弊社の3階展示コーナーにて展示しています。写真左下の2つの製品が「デジタル位相計」で、写真中央の製品が「ベクタースコープ」です。弊社にお立ち寄りの際は、是非ご覧ください。

展示コーナー

第7回 IEDテクニカルミーティング 弊社で開催！

営業部　青木 史生

皆様こんにちは。営業部青木です。GE社製IEDリレーの正規代理店である東京電設サービス株式会社(以下TDS)様にて全国の取引先を対象とした「IEDテクニカルミーティング」を毎年主催しており、弊社も参加しています。このミーティングは、送変電や発電所向けの制御保護装置に関する最新動向や活用事例を共有する情報交換の場です。今年は、7月24日と25日の2日間、弊社にて開催いたしました。

主催側からTDS様、GE VERNOVA(以下GE)様の他、全国から株式会社シーテック様(名古屋市)、北電テクノサービス株式会社様(富山市)、中国計器工業株式会社様(広島県)、四国計測工業株式会社様(香川県)、株式会社正興電機製作所様(福岡県)、道内から電制コムテック株式会社様(江別市)、北海道電力株式会社水力部様にご参加いただきました。

1日目は、弊社の向井、TDS P&C製造センター所長 古川様のご挨拶から始まりました。続いて弊社から「IED採用への壁を崩すべく発注者の立場でお話しいただきたい」との依頼に快諾いただいた北電水力部発電設計グループリーダーの佐藤様よりご講演をいただきました。佐藤様からは、導入に向けての経緯や考慮したこと、維持管理に関する部員へのヒアリングなどユーザー側からの視点でのお話をいただきました。大変有意義な内容で質疑応答も活発な意見交換の場となりました。

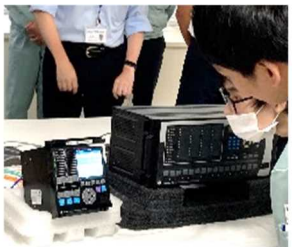
GE様からの製品トピックの紹介に続いて、中国計器工業株式会社様より複数のメカリレーの一括更新にIEDの活用事例の紹介、最後に私から弊社のIED採用実績と宣伝を兼ねて、コスト縮減をテーマとした「小水力向け制御保護一体型キュービクル」を紹介させていただきました。(誰も写真をとっておらず載せられないのが残念です…)

2日目は弊社工場にて、IEDを実装した発電機制御装置や電力向け各種製品に触れていただいた後、ミーティングでは初めてとなるデモ機を用いて、IEC61850の実際のデータストリームに関するご説明がありました。私にはとても理解できない内容でしたが、聴講していた弊社の開発チームのメンバーは大変参考になったと感激しておりました。

私自身2018年から参加して感じるのは、当初は海外製品のため国内電力規格との整合性から採用も限定的で、商品説明や導入実績・活用事例の紹介が主な内容でした。しかし、IEDはすでに変電所のデジタル化には必要不可欠なものとなっており、それに関する話題が増え着実に深度が深まっていると実感しています。

懇親会でもお話しさせていただいたのですが、せっかく電力に関わる全国の装置・盤メーカーが毎年顔を合わせているので、縦ではなく横のつながりを強固にし、相互補完しながら共同で業界をリードしていける関係が構築できればとても素晴らしいことと思います。このような機会を設けていただいているTDS様、GE様には感謝感謝です。

最後に、昨年の広島での懇親会で今年の開催地としてご指名いただいてから、成功に向けて一緒にご尽力いただきましたTDSの角田様はじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。また、遠く北海道までお越しいただいた各社の皆様の益々のご活躍を祈念して御礼に代えさせていただきます。


興味津々のESC社員

ESC Topic／農業用水もこれで安心！

灌漑放流設備制御盤を新設 ～灌漑用水を安定供給～

ご存知のことと思いますが、昨年6月に七飯発電所の灌漑放流設備が故障し、灌漑放流が停止するということがありました。この事象を受け、大規模な改修が決定されました。元請の清水建設様の下、制御盤の製作、現地工事および試験を依頼したいということで北海道電力株式会社様から弊社に白羽の矢が立ち、2023年9月6日に最初の打合せを行いました。打合せでは翌年3月末までに現地搬入、4月いっぱいで電気工事から試運転までを終え、5月から放流開始の計画が示されました。材料の納期が長期化する中、「製作が間に合うのか？」という不安を抱きつつもお受けしました。設備の概要としては、既設の水圧鉄管側面から発電所の放水路まで2系統の分岐配管を新設するものでした。その分岐配管には遮断バルブ2台、減圧バルブ6台が設置され、その各バルブの開閉を弊社が製作する制御盤で自動制御するというものです。現地調査や打合せを重ね、徐々に仕様が固まり、制御盤の製作図を12月に提出。弊社工場では3月末の搬入に向け鋭意製作を進めました。ところが、現地の天候にも恵まれず、別途元請様で進めていた現地躯体建設工事の計画に遅れが生じた結果、予定していた3月末では現地搬入ができず、4月12日に現地搬入となりました。5月1日の灌漑放流開始を見据え、4月19日に無水試験が予定されていたため、4月1日に現地入りし、ケーブル布設を含む工事を開始しました。元請様側の工事業者と作業場所が輻輳することも度々あったものの、予定作業の変更など都度調整をしつつ、4月18日になんとか無水試験ができるところまで工事を進めることができました。しかし、元請様の工事の遅れが影響し、制御盤の据付予定場所が未完成のまま、灌漑放流の開始を迎えてしまいました。その後、灌漑放流が終了する9月に制御盤及び関連するケーブルの一部を本設する工事を実施し、無事に完成となりました。

建設中

灌漑放流設備制御盤

今回の案件は特殊なケースではありましたが、電力の安定供給だけではなく、灌漑用水の安定供給にも寄与できたことに感慨深いものを感じています。最後に、清水建設株式会社様、日東電気工事株式会社様、北海道電力株式会社水力部土木グループ様、函館水力センター土木課様には、完成に至るまで多大なるご協力をいただき大変感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

完成全体写真！

ESC Topic／フレッシュな新入社員を紹介します

新入社員の紹介 ～流通技術課 S･I～

弊社の新入社員は入社後から約半年の間、電力関連技術の講習、製作訓練用盤を用いた盤製作実技研修、現地作業における OJT 等、様々な研修を通して実務に向けて経験を積みます。今年度入社した１名の新入社員も、技術的な基礎知識や工具の使い方、さらに図面類の読み方、書き方などを覚え、着々と成長しています。

一問一答！

Q1. ESC に入社を決めた理由は？

マイナビのインターンシップで ESC を知り、参加したところ「シーケンサを使用したシーケンスの作成作業が面白かったこと」と「電力に関わる企業に勤めたい」と思い、入社を決めました。

Q2. 入社から今までどんなことをしてきましたか？

社内資格の「圧着の検定試験」の受験･取得や変電所の「バンク盤の加工」、「SVR 用のコネクタ圧着作業」、「盤の試験」等をしました！

Q3. 入社から半年程経過しましたが…感想は??

学生時代にやっていないことばかりで覚えることが多いですが、頑張っていきたいです！！

圧着作業に挑戦

昇柱訓練中

ソフトボール大会、ついに復活

８月某日、過去最大規模となる５社合同でのソフトボール大会を実施しました。当日は天候に恵まれ、大盛況の中で終えることができました。この大会を通じて業界各社の結束を強めることができたと感じており、今後の仕事にもきっといい影響が出ると信じております。ご参加いただいた皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

来年もよろしくお願いします。

最後は参加者全員で

北海道労働局長 安全衛生表彰(奨励賞)　受賞！

去る７月４日、「令和６年度 安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者 北海道労働局長表彰」が行われ、弊社が「奨励賞」を受賞いたしました。この表彰は、無災害期間が特に長く、職場のリスク低減への取組が活発など、他の模範と認められる優良な事業場をたたえるものです。今後も事業所内のさらなる安全衛生管理に努めてまいります。

表彰式の様子

ESC の森 Information

朝霧のESCの森

キタコブシの実

カワラタケ

キバシリ

林野庁で定めている評価方法において、「ESCの森」の1年間のCO^2吸収・固定量が下記の結果となりました！

12.7t/年

※『林野庁_「法人の森林」環境貢献度評価集計表』より

※「ESCの森」とは…

地球温暖化防止や水源のかん養等を目的に、長沼町(「馬追の名水」付近)にある森林の一部を育て、整備しています。動植物の観察やネイチャースキーも楽しめますので、是非お立ち寄りください★

↑場所はこちら↑

編　集　後　記

新入社員が入社し、半年が経過しました。最初の頃は、こちらから挨拶をする度、緊張した面持ちで返事をしていましたが、今は少し慣れた様子で挨拶や仕事に取り組んでいます。まだまだ覚えることが多いと思いますが、引き続きこっそり応援したいと思います(^^)

営業部 編集担当